

2014年度事業報告

2014年 4月 1日 から 2015年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町

① 地域資源の発掘・保全事業

ア. わっぱらんどのお事務局

恒例のわっぱらんどのお夏祭りをはじめ、草刈作業や打ち合わせ等のサポートをした。

イ. 森林および竹林の整備とイベント

新規事業として、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を受け、これまで関わりを持ってきた森林・竹林の整備を行った（わっぱらんど、千年の森、筍体験をさせてもらった八坂の竹林等）。同時に「森林空間活用」として森林空間を活用したアート体験等も行い、食とアートの廻廊や原始感覚美術祭をサポートした。



② 地域資源を活かした、青少年の健全育成事業および観光事業

ア. 信濃大町お葉漬け隊

平成 24 年度の補助金終了後も、恒例イベントとなっている温泉郷でのお菜洗いイベントは継続。4 日間の温泉郷におけるお菜洗いイベントに 49 人の参加者があり、470kg のお菜の漬け込みがあった。また、あめ市における野沢菜味巡りも行い、20 軒からお菜の提供をしてもらい、野沢菜漬けの豊かな文化を発信した。新たな企画としては、食とアートの廻廊とつながる取り組みとして、冬期芸術祭のカフェに出展。各家庭から野沢菜を出品してもらおうと共に、漬け込んだ人のポートレートと一緒に展示した。



イ. 地元小学生の体験学習受け入れ

恒例となった地元小学校 1 年生のわっぱらんどへの受け入れは、クマへの警戒もあり、今年は夏の実施となった。

ウ. 黒部ダム奥の原生林ツアー

恒例となった市観光協会主催のトレッキングイベントを、ガイドのみを受託して行った。参加人数が少なく、必要なガイドも 2 名のみであった。

5 月には、地元高瀬中学のガイドを受け、昨年につきクイズラリー形式の体験プログラムを行った。また、この際前年度に作成した「黒部ダムとおおまちのお話」を配布、活用することができた。

その他、ツアーバス、個人客の受け入れも数回行った。

エ. かんじきハイク

大町温泉郷雪まつりの協賛キャンペーンとして、2月の毎日曜日に、中山高原のかんじきハイク、3月第1日曜日に黒沢高原のかんじきハイクを行った。このかんじきツアーもかなり定着してきており、安定した集客ができてきている。キャンペーン中の参加人数は49人。また、認知度が上がってきたこともあり、キャンペーンとは別にサークル等での申込みが4件あり、こちらは50名ほどの参加があった。

オ. その他オリジナルツアー

大町温泉郷青年部と連携して、温泉郷森林劇場周辺のナイトハイクを8月に行った。

8月1日～7日（7日間）：参加者延べ40人

また、昨年度の手応えをもとに、上原の湯と連携したホテルツアーを温泉郷にも告知し、7月5日と12の2回、宮の森の蛍ツアーを行った。こちらの参加者は大幅に増え47人となった。

カ. 新規ツアーコース造成・ガイド養成

地球環境基金の助成を受け、北アルプスネイチャーガイドが中心となって、新規ツアーコースの開発を行い、個人向けと教育旅行向け2種類のツアーリーフレットを作成したほか、ユニフォームやファーストエイドキットも購入した。

また、ガイドの養成講座も行い、救急救命、安全確保、インタープリテーション・チームビルディング等の研修をし、5名が「プロジェクト・ワイルド・エドゥケーター」の資格を取得した。また、白馬五竜観光観光協会と一緒にこの助成申請をして事業を進める中で、協力関係ができたことも成果であった。



キ. 北アルプス山麓グランフوند

3回目となる北アルプス山麓グランフوندを9月に開催。実行委員会事務局を受託し、主に地域連携とエイドステーションの運営、応援バスを受け持った。コース取りでは見直しを行い、小谷村を加えた120kmコースを新設することで、大北5市町村の連携を達成。事前に参加者に送付する案内に様々なイベントや観光・食の案内を同封した。また、昨年に続き、宿泊施設に大会参加者限定の特典を募ってHPにて紹介したほか、ウェルカムイベントでの抽選会の景品として地元の協賛品を募り、広くアピールした。

*9月6日受付、9月7日当日。

*参加費大人6000円、子供4000円。申込み人数653人、うち75%が県外。



ク. アルプスあずみのセンチュリーライド

5月25日に開催されたアルプスあずみのセンチュリーライドにて、前年より1カ所多い4カ所のエイドステーションの運営を行い、好評を博した。参加ライダー約1600人。

*大町エイド：ネギ味噌おにぎり、おざんざ、わらび餅

(信濃大町のつけものや、大町水物語の会、市議有志ほか)

*大町温泉郷エイド：漬物バイキング、一口ドーナツ

(もんぺの会、コンディトライ・アン・マリーレほか)

*木崎湖エイド：冷奴と赤飯饅頭 (栗林豆腐店、社直売所内たんぼば工房)

*美麻エイド：そばの薄焼き (種山商店ほか新行のお母さんたち)

ケ. 温泉郷イベントへの協力

温泉郷のゆきまつりにおいて、例年通り木ろうそくを提供した。

③ 前項をとおした仕事おこし・地域づくり事業

ア. 黒部ダム展示物管理業務

昨年に続き、黒部ダム 50 周年記念事業として行われたダムサイトでの特別展示「黒部の物語」の、展示管理を受託した。(7月19日～9月30日の73日間。)黒部ダムのガイドにも関係するため、当会内のガイドチーム「北アルプスネイチャーガイド」のメンバーが中心となって業務を行った。

イ. 信濃大町食とアートの廻廊の開催準備

信濃大町 2014 食とアートの廻廊実行委員会事務局として、イベントの企画・運営を行い、関係した地域資源の掘り起こしと市民活動との連携に注力した。また、名店街の活性化に向けて中小企業庁の補助金を活用し、委託を受けてアートの設営と夏祭を企画。実施をサポートした。



会期：8月9日(土)～8月24日(日)16日間

アート作品：8作品

市民連携によるおもてなし：14団体の協力

プレミアムツアー参加者：100人

来場者延べ人数：概算 5000人

チケット販売数：500枚 ※詳細は、記録集を参照

④ 地域の市民活動をつなぐためのネットワーク事業

ア. おおまちラボラトリサポート

大町活性化研究会「おおまちラボラトリ」は現在活動を休止しているが、「恋するおおまちスイーツ」については、周囲の期待も大きかったことから、8月に第3弾を食と観光研究会主導で企画・実施し、リーフレットを作成して発信に努めたほか8月1日～3日に扇沢で行われたトロバスフェスタでカフェを行った。

イ. 信濃大町食と観光研究会

農林水産省の「都市農村共生・対流総合対策交付金」を受けて、「信濃大町食と観光研究会」の事務局を担った。2014年は主に「食とアートの廻廊」の実施と記録集の制作を行った。また「恋するおおまちスイーツ」第3弾、定住促進お試しツアーの郷土食体験を主導した。また、この交付金を受けて研修生1名を雇用し、事業を主導してもらったと同時に事業終了後にネットワークこの研修生については、賃金は交付金の中から支払われるが、法人であるぐるったネットワークに籍を置いたため、社会保険・交通費についてはぐるったネットワークの会計から支出している。



ウ. テンカラ事業への協力

大町ダムを会場に行われる「高瀬渓谷フェスティバル」実行委員会に加わり、北の安曇野渓流会と実行委員会のパイプ役を務めテンカラ釣り体験会に協力した。

また、食とアートの廻廊のオプションツアーとしても企画したが、台風のため催行中止となった。

エ. その他市民活動のサポート

三蔵呑み歩きの公式ガイドとマップを作成した。また、「信濃大町の食 おいしいプロジェクト」の相談を受け、助成申請をサポートした。そのほか、件数はわずかだが、備品貸し出しや印刷等のサポートを行った。

また、仁科台中学校 3 年生の社会科の授業に招かれ、地域資源を活かしたまちづくりについてアドバイスをしたほか、3 年生のまちへの提言を受けて、市民フォーラムとの橋渡しをし、市民の感想をメッセージにまとめて卒業前に手渡した。



ウ. 会員、出向、事務局

当会は、現在、大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、自然体験活動推進協議会、長野県中小企業団体中央会に加入中。また、大町まちづくり協議会、定住促進協議会、国営アルプスあづみの公園を活かした地域振興推進会議、北陸新幹線延伸対策協議会、大町市サポートセンター運営委員会、北アルプス山麓里山ウォーク実行委員会に委員を出向している。

大町グラウンドワーク「わっぱらんの会」、北アルプス山麓グランフォンド実行委員会、信濃大町お菓漬け隊、信濃大町食と観光研究会、信濃大町食とアートの廻廊実行委員会の事務局も担う。

⑤ 地域情報の収集・発信事業

ア. ぐるっとマップ制作

大糸タイムスに隔週で「ぐるっとマップ」を連載。さまざまな切り口で地域資源マップを作成し、地域の魅力を発信してきた。2014 年度中の掲載数は 28。

4 月	春を告げる花、池田の桜	10 月	アトライン、紅葉の高瀬溪谷、北アルプスの成立ち
5 月	北アルプス眺望、小谷森林セラピー	11 月	えびす講、クリスマスケーキ
6 月	破碎ロック、黒部溪谷の散策、ほたる探し	12 月	池田のやきもの、除夜の鐘
7 月	白馬花三昧、摘み取り体験、お祭りご膳	1 月	ゲレ食、おおまち雪まつり
8 月	食とアートの廻廊、村祭り	2 月	おおまちバル、山麓ブランド
9 月	三蔵呑み歩き、グルメグランプリ	3 月	仁科三十三番札所、大町の籍、北安曇の気象

イ. I・Uターン、コミュニティビジネスの取材・発信

大町市産業立地戦略室の委託を受けて、I・Uターン、コミュニティビジネス等の取材・発信を行った。2014 年に取り上げた件数は 6 件。

ウ. ホームページ、SNSにおける情報発信

ぐるっとマップのホームページからのダウンロードを復活した。SNS については、ぐるったネットワーク大町、北アルプスネイチャーガイド、食とアートの廻廊、恋するおおまち等のフェイスブックページ管理を行っている。